

平成30(2018)年度

# 入学者選抜に関する要項

## インターネット出願

平成30年度学部入試（平成29年度実施）の一般選抜、特別選抜【推薦】【社会人・A日程（推薦）】  
【B日程】においては、インターネットのみの出願となります。これにより、出願書類を取り寄せる必要はありません。また、入学検定料は、クレジットカード、コンビニエンスストア、銀行や郵便局のATMで支払うことができます。

公立大学法人 前橋工科大学



Maebashi Institute of Technology

〒371-0816

群馬県前橋市上佐鳥町460番地1

前橋工科大学 学務課学生係（入試担当）

TEL 027-265-0111（代表）

027-265-7361（学務課直通）

FAX 027-265-3837

E-Mail nyushi@maebashi-it.ac.jp



URL: <http://www.maebashi-it.ac.jp/>

□	工学部の入学者受入れの方針・卒業認定・学位授与の方針・教育課程編成・実施の方針	1
□	入学者選抜における変更点について	1
1	前橋工科大学入学者選抜日程の概要	2
	(1) 一般選抜【前期日程、後期日程】	
	(2) 特別選抜【推薦、総合デザイン工学科、帰国生徒、私費外国人留学生】	
2	区分別募集人員	3
3	入学者選抜方法等	4
	(1) 一般選抜	
	(2) 特別選抜	
4	一般選抜	6
	(1) 出願資格	
	(2) 出願手続	
	ア 出願方法   □ インターネット出願	
	イ 出願期間	
	(3) 選抜方法	
	(4) 一般選抜の実施教科・科目・配点等	
	一般選抜の実施教科・科目等	
	一般選抜の実施の配点	
5	特別選抜	10
	(1) 社会環境工学科、建築学科、生命情報学科、システム生体工学科、生物工学科	
	① 推薦	
	② 帰国生徒	
	③ 私費外国人留学生	
	(2) 総合デザイン工学科	
	① 社会人・A日程（推薦）	
	② B日程	
	③ 2年次編入	
	④ 3年次編入	
	(3) 出願方法	
	□ インターネット出願	
	□ 紙の志願票等による出願	
6	障がい等を有する等の入学志願者の出願について	17
7	試験会場について	17
8	学生募集要項等の発表時期について	17
9	各学科の入学者受入れの方針・卒業認定・学位授与の方針・教育課程編成・実施の方針	18
10	前橋工科大学の情報を詳しく調べたい方へ	25

※本要項は概要版です。変更が生じる場合がありますので、各試験の募集要項を必ず確認してください。

天候等の理由で試験の実施に変更等がある場合は、本学ホームページに掲載しますので、必ず確認してください。

## 前橋工科大学工学部の教育ポリシー

### ○ 前橋工科大学の3つのポリシー（アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシー）

本学は、社会環境工学科、建築学科、生命情報学科、システム生体工学科、生物工学科、総合デザイン工学部の6学科から構成される、工学部単科大学である。大学として、入学者受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）、教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）の3つのポリシーを定めている。多様な特色をもつ6学科では、それにしたいが、学科の理念を実現するため、さらに学科ごとに3つのポリシーが定められている。

#### ● 入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

- ・教育課程編成・実施の方針を修得するために必要な、高校課程の基礎的な学力を修めている人
- ・工学に関心を持ち、みずから考え、判断する力を育み、何事にも積極的に挑戦しようと考えている人
- ・発想力、洞察力、コミュニケーション力を修めるため、持続力をもって学ぼうとする人

#### ● 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

- ・卒業認定・学位授与の方針を達成するために必要な、共通教育科目（総合デザイン工学科においては基礎教育科目）、専門教育科目、専門科目（総合デザイン工学科においては専門教育科目）を学修させる
- ・工学教育を特徴づける実験・実習・演習をとおして、課題の解決に必要な知識と方法を修得させ、その結果を論理的に発表する力を身につけさせる
- ・本学での学修に加え、インターンシップなどの学外活動をとおした実社会との交流も促進し、表現力、協調性、倫理性を涵養させる

#### ● 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

- ・本学がめざす自然と人との共生、持続可能な循環型社会の構築に寄与するための幅広い基礎的な学力、工学の知識と技能を修得し、判断力と実行力を有している
- ・みずから課題をみいだすことができ、解決に主体的に取り組み、その成果を発表する能力を備えている
- ・社会との協働に参画し、専門技術者として果たすべき使命と役割を理解し、倫理観や責任感を身につけている

---

## 平成30（2018）年度 入学者選抜における変更点について

### □ 生物工学科 特別選抜【推薦】・一般選抜【後期日程】における募集人員の変更

⇒募集人員を変更します。

- ・特別選抜【推薦】 4名 ⇒ 6名
- ・一般選抜【後期日程】 10名 ⇒ 8名

### □ 生命情報学科 特別選抜【帰国生徒】・【私費外国人留学生】における選抜方法の内容変更

⇒選抜方法の内容を変更します。

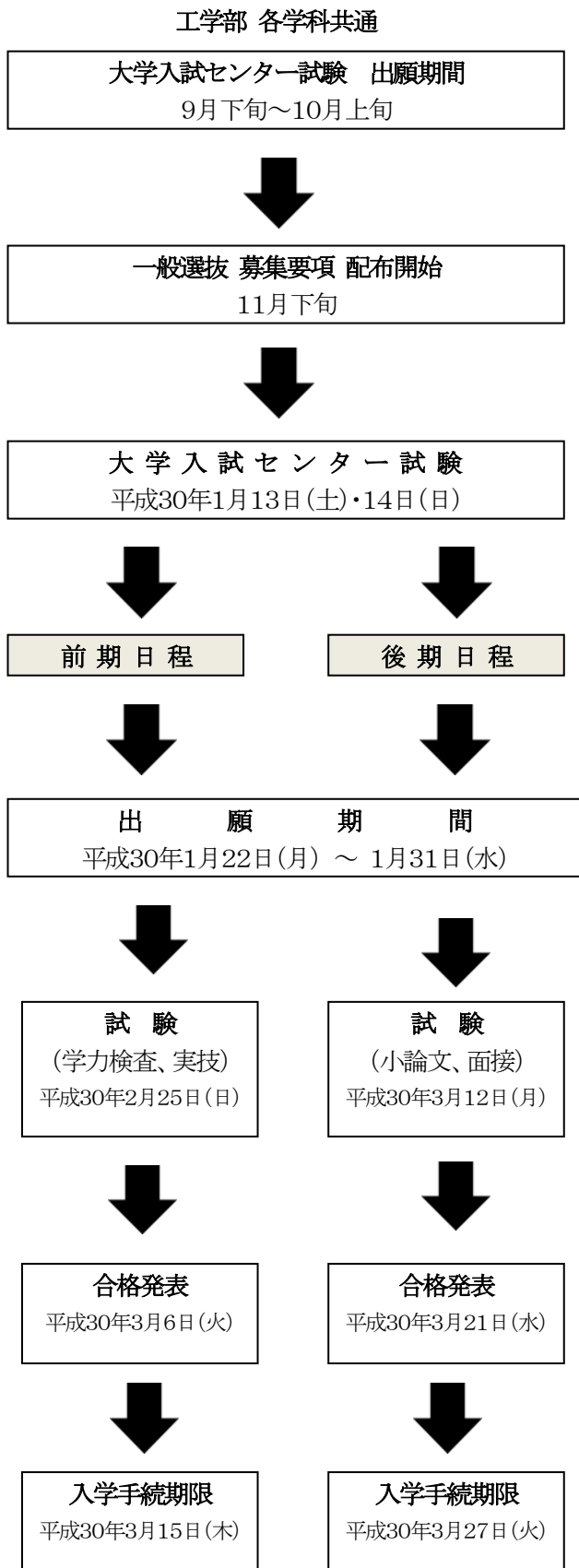
(変更前) (1) 書類審査 (2) 小論文 (3) 面接



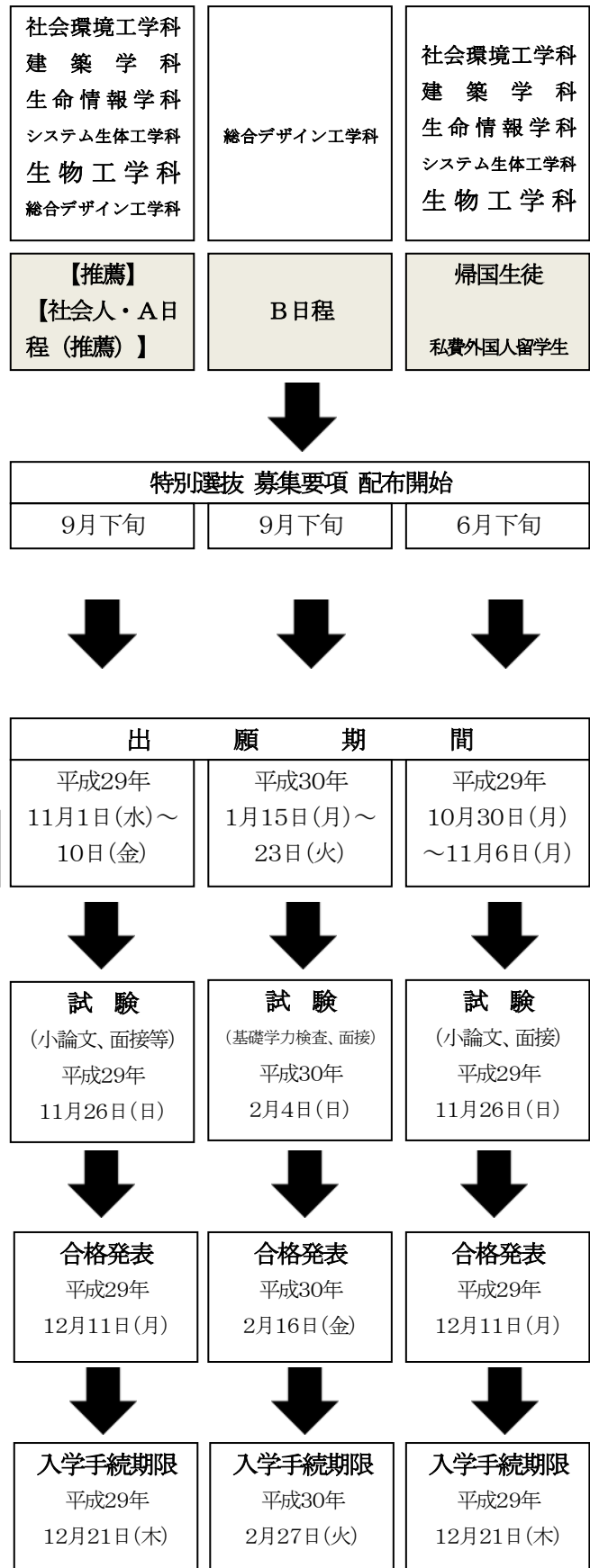
(変更後) (1) 書類審査 (2) 小論文 (3) 面接 (基礎的な数学の口頭試問を含む)

# 1 前橋工科大学入学者選抜日程の概要

## (1) 一般選抜



## (2) 特別選抜



(総合デザイン工学科 2、3年次編入を除く)

## 2 区分別募集人員

工 学 部	入学 定員	募 集 区 分				
		一 般 選 抜		特 別 選 抜		
		前 期 日 程	後 期 日 程	推 薦	帰国生徒 私費外国人 留学生	総合デザイン 工学科 B日程
社会環境工学科	47名	32名	10名	5名	若干名	—
建築学科	51名	33名	10名	8名	若干名	—
生命情報学科	43名	25名	14名	4名	若干名	—
システム生体工学科	43名	29名	10名	4名	若干名	—
生物工学科	43名	29名	8名	6名	若干名	—
総合デザイン工学科	40名	12名	7名	(社会人・ A日程) 3名	—	18名
計	267名	160名	59名	30名	若干名	18名

### 3 入学者選抜方法等

#### (1) 一般選抜

試験区分・学部・学科		選抜方法等	個別学力検査等					専門学校・総合学科卒業生選抜					個別学力検査等の日程	備考（欠員の補充の方法等）		
			個別学力検査を課する	実技検査等			2段階選抜		個別学力検査を課する	実技検査等					募集人員	
				面接を行う	小論文を課する	外国語におけるリスニングテストを課する	入試センター試験の成績により1段階選抜を行い、その合格者についてさらに必要な検査等を行う	第一段階の選抜による合格者数		定員に対する倍率	面接を行う	小論文を課する				外国語におけるリスニングテストを課する
前期 日程	工学部	社会環境工学科	○	×	×	×	×								平成30年2月25日	追加合格
		建築学科	○	×	×	×	×									
		生命情報学科	○	×	×	×	×									
		システム生体工学科	○	×	×	×	×									
		生物工学科	○	×	×	×	×									
		総合デザイン工学科	×	○	×	×	×									
後期 日程	工学部	社会環境工学科	×	×	○	×	×								平成30年3月12日	追加合格
		建築学科	×	×	×	○	×									
		生命情報学科	×	×	○	×	×									
		システム生体工学科	×	×	○	×	×									
		生物工学科	×	×	×	○	×									
		総合デザイン工学科	×	×	○	×	×									

(2) 特別選抜

選抜方法 試験種別等	推 薦 総合デザイン工学科 社会人・A日程(推薦)								帰国生徒		総合デザイン 工学科 B日程	
	書の入学 の推薦 によっ て判 定す る。	大学 入試 セン ター 試験 を課 する	筆記 検査 を課 する	実技検査等				面接 を行 う	小論 文を 課す る	面接 を行 う	基礎 学力 検査 を課 する	
				実技 検査 を課 する	面接 を行 う	小論 文を 課す る	外国 語に おけ るリ スニ ング テスト					
学 科 名												
工 学 部	社 会 環 境 工 学 科	○	×	×	×	○ ※1	○	×	○	○	—	—
	建 築 学 科	○	×	×	×	○ ※2	○ ※3	×	○	○	—	—
	生 命 情 報 学 科	○	×	×	×	○ ※4	×	×	○ ※4	○	—	—
	システム生体工学科	○	×	○	×	○	×	×	○	○	—	—
	生 物 工 学 科	○ ※5	×	×	×	○	○	×	○	○	—	—
	総合デザイン工学科	○	×	×	×	○	×	×	—	—	○	○

※1 物理に関する口頭試問を含む。

※2 英語、数学、物理に関する口頭試問を含む。

※3 工学教育を受けるための基礎学力を問う問題を含む。

※4 基礎的な数学の口頭試問を含む。

※5 実用英語技能検定試験（英検）合格証明書又はTOEIC公式認定証又はTOEFL公式スコア票を有する者は、その写しを調査書の中に厳封して提出してください。

## 4 一般選抜

### (1) 出願資格

平成30年度大学入試センター試験のうち、本学が指定する教科・科目を受験した者で、以下の各号のいずれかに該当する者。

- ① 高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ）を卒業した者及び平成30年3月卒業見込みの者
- ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成30年3月修了見込みの者
- ③ 学校教育法施行規則第150条第1号から第6号の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者、及び平成30年3月31日までにこれに該当する見込みの者
- ④ 学校教育法施行規則第150条第7号の規定により、本学において個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で平成30年3月31日までに18歳に達する者

【注】出願資格④により出願しようとする場合には、本学において入学資格審査による認定を行いますので本学学務課学生係に事前相談をし、平成29年8月1日(火)から8月31日(木)までの9時00分から17時00分までに申請して下さい。(土・日曜祝日は除く)

### (2) 出願手続

#### ア 出願方法

- インターネット出願

インターネット出願のページは、本学ホームページからアクセスできます。

以下の手順に従って出願してください。

- ① 入試制度の確認・必要書類の準備

初めての方は出願手続きをはじめる前に必ずご確認ください。

入試内容については学生募集要項でご確認ください。

顔写真など必要書類がそろっているか確認してください。

- ② インターネット出願ページへアクセス。

URL：<https://e-apply.jp/e/mit/>

受付制度・学科や個人情報など必要事項を入力してください。

※ 初めての方は出願手続きをはじめる前に必ず事前準備の項目をご確認ください。

- ③ 入学検定料を支払う。

出願情報の入力完了後、支払画面に移りますので支払方法を選んでお支払ください。

※ 入学検定料のお支払前に出願内容の誤りに気付いた場合は、入学検定料を納入せずに、もう一度②から登録をやり直してください。

**※ 入学検定料支払い後の出願内容の訂正は出来ませんので、注意してください。**

※ お支払い期限内に入金がない場合、お申し込みは自動的にキャンセルとなりますのでご注意ください。

各種支払方法による入学検定料の支払いが完了すると出願書類の印刷が可能になります。

- ④ 必要書類の確認、印刷

『出願内容の確認／志願書の確認』にログインをして、「志願票」等をダウンロードし、入力した内容を確認後、入学志願票・写真票、宛名票の印刷を行ってください。

- ⑤ 必要書類の郵送

ダウンロードした「志願票等」と他の必要書類を合わせて提出期限内に「簡易書留・速達」で本学へ郵送してください。

インターネット出願は、インターネットでの入力と入学検定料の支払いを行っただけでは出願手続きが完了になりません。出願期間内に必要な出願書類が本学に到着するよう、**簡易書留・速達扱いで忘れずに郵送**してください。



なお、本学で出願手続きが完了すると、受験票の印刷のご案内を送信します。インターネットにより受験票が印刷可能となります。必ず印刷し、試験当日持参してください。

## イ 出願期間

平成30年1月22日（月）～1月31日（水）

### （3）選抜方法

入学者の選抜は、大学入試センター試験及び個別学力検査等の成績ならびに調査書の内容を総合して行う。

### （4）一般選抜の実施教科・科目、配点等

8～9ページに掲載。

#### 〔大学入試センター試験の利用教科・科目についての注意事項〕

- ① 指定された教科・科目を受験していない場合は、「失格」とします。
- ② 国語は、「近代以降の文章」のみ利用します。
- ③ 理科の「物理」について、第1解答科目でも第2解答科目でも可とします。
- ④ 理科の「物理、化学、生物から1科目」の選択について、2科目受験している場合は高得点の科目を採用します。
- ⑤ 外国語は、「英語」と「リスニング(英語)」を利用します。
- ⑥ 総合デザイン工学科・8ページの表「①から⑧のうち2科目選択」について、各科目を100点換算し、①から⑧のうち高得点のものから2科目を採用します。

# 一般選抜の実施教科・科目等

学部・学科名 及び募集人員	学力検査 等の区分 ・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等				
		教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階 選抜		
工学部 219人  前期日程 160人  後期日程 59人	<b>社会環境工学科</b>  計 42人  前期日程 32人 後期日程 10人	前期日程 平成30年 2月25日	国語 数学科 理科 外国語	国語 数Ⅰ・数A、数Ⅱ・数B 物理 英語・リスニング	数 学	数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数A、数B	—	
		〔4教科5科目〕						
		後期日程 平成30年 3月12日	国語 数学科 理科 外国語	国語 数Ⅰ・数A、数Ⅱ・数B 物理 英語・リスニング	その他	面接 (物理に関する口頭試問を含む)	—	
		〔4教科5科目〕						
		<b>建築学科</b>  計 43人  前期日程 33人 後期日程 10人	前期日程 平成30年 2月25日	国語 数学科 理科 外国語	国語 数Ⅰ・数A、数Ⅱ・数B 物理 英語・リスニング	数 学	数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数A、数B	—
			〔4教科5科目〕					
	後期日程 平成30年 3月12日	数 学 理科 外国語	数Ⅰ・数A、数Ⅱ・数B 物理 英語・リスニング	その他	小論文	—		
	〔3教科4科目〕							
	<b>生命情報学科</b>  計 39人  前期日程 25人 後期日程 14人	前期日程 平成30年 2月25日	国語 数学科 理科 外国語	国語 数Ⅰ・数A、数Ⅱ・数B 物理、化学、生物から1科目 英語・リスニング	数 学	数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数A、数B	—	
		〔4教科5科目〕						
		後期日程 平成30年 3月12日	国語 数学科 理科 外国語	国語 数Ⅰ・数A、数Ⅱ・数B 物理、化学、生物から1科目 英語・リスニング	その他	面接	—	
		〔4教科5科目〕						
		<b>システム生体工学科</b>  計 39人  前期日程 29人 後期日程 10人	前期日程 平成30年 2月25日	国語 数学科 理科 外国語	国語 数Ⅰ・数A、数Ⅱ・数B 物理、化学、生物から1科目 英語・リスニング	数 学	数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数A、数B	—
			〔4教科5科目〕					
	後期日程 平成30年 3月12日	国語 数学科 理科 外国語	国語 数Ⅰ・数A、数Ⅱ・数B 物理、化学、生物から1科目 英語・リスニング	その他	面接	—		
	〔4教科5科目〕							
	<b>生物工学科</b>  計 37人  前期日程 29人 後期日程 8人	前期日程 平成30年 2月25日	国語 数学科 理科 外国語	国語 数Ⅰ・数A、数Ⅱ・数B 物理、化学、生物から2科目 英語・リスニング	理 科	[化学基礎・化学]、 [生物基礎・生物] から1科目	—	
		〔4教科6科目〕						
		後期日程 平成30年 3月12日	国語 数学科 理科 外国語	国語 数Ⅰ・数A、数Ⅱ・数B 物理、化学、生物から2科目 英語・リスニング	その他	小論文	—	
		〔4教科6科目〕						
		<b>総合デザイン工学科</b>  計 19人  前期日程 12人 後期日程 7人	前期日程 平成30年 2月25日	数 学 国語 数 学 理 科 外国語	数Ⅰ・数A ※以下の①から⑧のうち2科目選択 ①国語 ②数Ⅱ・数B ③物理基礎、化学基礎、生物基礎、 地学基礎から2つ ④物理 ⑤化学 ⑥生物 ⑦地学 ⑧英語・リスニング	その他	実技	—
			〔2教科3科目 又は 3教科3科目〕					
	後期日程 平成30年 3月12日		数 学 国語 数 学 理 科 外国語	数Ⅰ・数A ※以下の①から⑧のうち2科目選択 ①国語 ②数Ⅱ・数B ③物理基礎、化学基礎、生物基礎、 地学基礎から2つ ④物理 ⑤化学 ⑥生物 ⑦地学 ⑧英語・リスニング	その他	面接	—	
	〔2教科3科目 又は 3教科3科目〕							

# 一般選抜の配点

学科	日程	試験	大学入試センター試験の配点等					個別学力検査の配点等			配点合計	特別選抜の方法等
			国語	数学	理科	外国語(英語)	リスニング	小論文	面接	実技		
社会環境工学科	前期	センター試験	100	200	100	160	40				600	
		個別学力検査		200							200	
		計	100	400	100	160	40				800	
	後期	センター試験	100	300	200	80	20				700	
		個別学力検査							100		100	
		計	100	300	200	80	20		100		800	
建築学科	前期	センター試験	100	200	100	160	40				600	
		個別学力検査		200							200	
		計	100	400	100	160	40				800	
	後期	センター試験		200	100	80	20				400	
		個別学力検査							100		100	
		計		200	100	80	20	100			500	
生命情報学科	前期	センター試験	100	200	100	80	20				500	推薦 帰国生徒 私費外国人留学生
		個別学力検査		200							200	
		計	100	400	100	80	20				700	
	後期	センター試験	100	300	100	80	20				600	
		個別学力検査							100		100	
		計	100	300	100	80	20		100		700	
システム生体工学科	前期	センター試験	100	200	100	160	40				600	
		個別学力検査		200							200	
		計	100	400	100	160	40				800	
	後期	センター試験	100	200	100	160	40				600	
		個別学力検査							100		100	
		計	100	200	100	160	40		100		700	
生物工学科	前期	センター試験	100	200	200	160	40				700	
		個別学力検査			200						200	
		計	100	200	400	160	40				900	
	後期	センター試験	100	200	200	160	40				700	
		個別学力検査							200		200	
		計	100	200	200	160	40	200			900	
総合デザイン工学科	前期	センター試験		100							300	社会人・A日程 (推薦)  B日程
		200 (選択科目:1科目 100×2)										
		個別学力検査							100		100	
	後期	計		100						100	400	
		200 (選択科目:1科目 100×2)										
		センター試験		100							300	
後期	200 (選択科目:1科目 100×2)											
	個別学力検査							100		100		
	計		100					100		400		
200 (選択科目:1科目 100×2)												

## 5 特別選抜

### (1) 社会環境工学科、建築学科、生命情報学科、システム生体工学科、生物工学科

#### ① 推薦

学部・学科名	<b>【工 学 部】</b> 社会環境工学科、 建築学科、生命情報学科、システム生体工学科、 生物工学科	
募 集 人 員	社会環境工学科	5名
	建 築 学 科	8名
	生 命 情 報 学 科	4名
	システム生体工学科	4名
	生 物 工 学 科	6名
出 願 資 格	次のすべての項に該当し、高等学校長が責任を持って推薦できる者 (1) 平成30年3月に高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ）を卒業見込みの者又は平成29年中に卒業した者 (2) 人物、学力ともに優れ、志望する学科に対し適性を有する者 (3) 合格した場合、本学に入学することを確約できる者	
選 抜 方 法	社会環境工学科	(1) 書類審査 (2) 小論文 (3) 面接（物理に関する口頭試問を含む）
	建築学科	(1) 書類審査 (2) 小論文（工学教育を受けるための基礎学力を問う問題を含む）(3) 面接（英語、数学、物理に関する口頭試問を含む）
	生命情報学科	(1) 書類審査 (2) 面接（基礎的な数学の口頭試問を含む）
	システム生体工学科	(1) 書類審査 (2) 筆記検査（数学 <sup>注1</sup> 、英語） (3) 面接
	生物工学科	(1) 書類審査 <sup>注2</sup> (2) 小論文 (3) 面接
出 願 方 法	インターネット出願	
出 願 期 間	平成29年11月1日（水）～11月10日（金）〔必着〕	
試 験 日	平成29年11月26日（日）	
合 格 発 表 日	平成29年12月11日（月）	
そ の 他	○大学入試センター試験を課しません。  注1 システム生体工学科の筆記検査（数学）の範囲は、数学Ⅰ、数学Ⅱ、 数学Ⅲ、数学A、数学Bとします。  注2 実用英語技能検定試験（英検）合格証明書又はTOEIC公式認定証又はTOEFL 公式スコア票を有する者は、その写しを調査書の中に厳封して提出してくだ さい。	

② 帰国生徒

学部・学科名	<b>【工 学 部】</b> 社会環境工学科、 建築学科、 生命情報学科、 システム生体工学科、 生物工学科
募 集 人 員	社 会 環 境 工 学 科 若干名 建 築 学 科 若干名 生 命 情 報 学 科 若干名 シ ス テ ム 生 体 工 学 科 若干名 生 物 工 学 科 若干名
出 願 資 格	次のすべての項に該当する者 1 日本国籍を有し、保護者の海外勤務等やむを得ない事情により、外国に在住し、外国の学校教育を受けた者で次のいずれかに該当する者。 (1) 外国において、外国の教育制度に基づく教育機関において、最終学年を含め2学年以上継続して学校教育を受け、12年に相当する課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。）を平成28年4月1日から平成30年3月31日までに卒業(修了)した者及び卒業(修了)見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者。 (2) 外国の教育制度に基づく教育機関において、外国において2年以上継続して学校教育を受け、12年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。）を中途退学し、引き続き日本の高等学校の第3学年もしくは中等教育学校の第6学年に編入学を認められた者で、平成30年3月卒業見込みの者。 (3) 外国において、スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレアの資格証書を平成28年4月1日から平成30年3月31日までに授与された者及び授与見込みの者で、平成30年3月31日までに18歳に達する者。 (4) 外国において、ドイツ連邦共和国各州の大学入学資格として認められているアビトゥアの資格証書を平成28年4月1日から平成30年3月31日までに授与された者及び授与見込みの者で、平成30年3月31日までに18歳に達する者。 (5) 外国において、フランス共和国の大学入学資格として認められているバカロレアの資格証書を平成28年4月1日から平成30年3月31日までに授与された者及び授与見込みの者で、平成30年3月31日までに18歳に達する者。 ※(1)及び(2)において、外国に設置された教育機関であっても、日本の学校教育法に準拠した教育を施している学校に在学した者については、その期間は、外国において学校教育を受けた者とはみなされない。 2 TOEFL iBT、TOEIC 公開テストのうちいずれか1つを平成27年9月以降に受験している者
選 抜 方 法	(1) 書類審査※ (2) 小論文 (3) 面接 ※
出 願 方 法	紙の志願票等による出願
出 願 期 間	平成29年10月30日(月)～11月6日(月) [必着]
試 験 日	平成29年11月26日(日)
合 格 発 表 日	平成29年12月11日(月)
そ の 他	○ 大学入試センター試験を課しません。 ※生命情報学科の面接は、基礎的な数学の口頭試問を含む面接となります。

### ③ 私費外国人留学生

学部・学科名	<b>【工 学 部】</b> 社会環境工学科、 建築学科、 生命情報学科、 システム生体工学科、 生物工学科
募集人員	社会環境工学科 若干名 建築学科 若干名 生命情報学科 若干名 システム生体工学科 若干名 生物工学科 若干名
出願資格	次のすべての項に該当する者 (1) 日本国籍を有しない者 (2) 出入国管理及び難民認定法において、大学入学に支障のない在留資格を有する者で、次のいずれかに該当する者 ①外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び平成30年3月31日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣が指定した者 ②国際バカロレア資格を有する者で平成30年3月31日までに18歳に達する者 ③アビトゥア資格を有する者で平成30年3月31日までに18歳に達する者 ④フランス共和国のバカロレア資格を有する者で平成30年3月31日までに18歳に達する者 (3) 独立行政法人日本学生支援機構が行う平成28年度日本留学試験(第2回)又は平成29年度日本留学試験(第1回)で、下記受験科目を受験している者 【受験科目】試験の出題言語は日本語で、①日本語(読解、聴解・聴読解、記述を含む)、②理科(2科目:自由選択)、③数学(コース2) ◎ システム生体工学科の出願資格は、上記(3)の合計点が510点以上(850点満点) (4) TOEFL iBT、TOEIC公開テストのうちいずれか1つを平成27年9月以降に受験している者
選 抜 方 法	(1) 書類審査※ (2) 小論文 (3) 面接※
出 願 方 法	紙の志願票等による出願
出 願 期 間	平成29年10月30日(月)～11月6日(月) [必着]
試 験 日	平成29年11月26日(日)
合 格 発 表 日	平成29年12月11日(月)
そ の 他	○ 大学入試センター試験を課しません。 ※生命情報学科の面接は、基礎的な数学の口頭試問を含む面接となります。

## (2) 総合デザイン工学科

### ①社会人・A日程（推薦）

学部・学科名	<b>【工 学 部】</b> 総合デザイン工学科
募集人員	3名
出願資格	次のすべての項に該当し、高等学校長又は事業主（代表権のある者）の推薦書を提出できる者 (1) 平成30年3月に高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ）を卒業見込みの者、又は、高等学校を卒業した者で働きながら学ぶことを希望する者 (2) 人物、学力ともに優れ、本学科に対し適性を有する者
選抜方法	(1) 書類審査 (2) 面接（グループディスカッション※及び個人面接）
出願方法	インターネット出願
出願期間	平成29年11月1日（水）～11月10日（金）〔必着〕
試験日	平成29年11月26日（日）
合格発表日	平成29年12月11日（月）
その他	○大学入試センター試験を課しません。 ○本試験で合格しなかった者は、総合デザイン工学科B日程に出願し、受験することができます。 ※グループディスカッションは、コミュニケーション能力に関する審査を行います。 ○事業主推薦書の書式については、事前に入試担当までお問い合わせください。

② B日程

学部・学科名	【工 学 部】 総合デザイン工学科
募 集 人 員	18名
出 願 資 格	次の(1)から(3)のいずれかに該当する者 (1) 高等学校(中等教育学校を含む。以下同じ)を卒業した者又は平成30年3月に高等学校を卒業見込みの者 (2) 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者 (3) 本学において、個別学力の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、平成30年3月31日までに18歳に達する者
選 抜 方 法	(1) 書類審査 (2) 基礎学力検査(基礎的な数学、理科の問題を含む) (3) 面 接
出 願 方 法	インターネット出願
出 願 期 間	平成30年1月15日(月)～1月23日(火) [必着]
試 験 日	平成30年2月4日(日)
合 格 発 表 日	平成30年2月16日(金)
そ の 他	○大学入試センター試験を課しません。 ○本試験は、推薦ではありません。 ○国公立大学の一般選抜試験との併願が可能です。 ○出願資格(3)に該当する者が出願しようとする場合には、本学において入学資格審査による認定を行いますので、本学学務課学生係に事前相談をし、平成29年12月4日(月)から12月8日(金)までの9時00分から17時00分までに申請して下さい。



③ 2年次編入

学部・学科名	【工 学 部】 総合デザイン工学科
募集人員	1名
出願資格	<p>在籍している（いた）学科が本学科と同系列か否かに関わらず、次の(1)から(6)のいずれかに該当する者</p> <p>(1) 短期大学を卒業した者又は平成30年3月までに卒業見込みの者</p> <p>(2) 高等専門学校を卒業した者又は平成30年3月までに卒業見込みの者</p> <p>(3) 4年制大学に1年以上（休学期間を除く）在学し、30単位以上を修得した者又は平成30年3月までに修得見込みの者。短期大学に1年以上在学した者及び高等専門学校に4年以上在学した者（修得単位数等については、本学へ確認して下さい。）なお、所定の単位を修得見込みの者が、平成30年3月までに修得できなかった場合には、合格を取り消します。</p> <p>(4) 学校教育法第104条第4項の規定に基づき、大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者又は平成30年3月までに授与される見込みの者</p> <p>(5) 外国において、学校教育における14年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む）を修了した者、又は平成30年3月までに修了見込みの者</p> <p>(6) 第3年次編入学試験の出願資格審査の結果、第2年次であれば受験可能であると判定された者</p>
選 抜 方 法	(1) 書類審査 (2) 面 接
出 願 方 法	紙の志願票等による出願
出 願 期 間	平成29年10月30日（月）～11月6日（月）〔必着〕
試 験 日	平成29年11月26日（日）
合 格 発 表 日	平成29年12月11日（月）
そ の 他	○大学入試センター試験を課しません。

④ 3年次編入

学部・学科名	<b>【工 学 部】</b> 総合デザイン工学科
募集人員	1名
出願資格	出願資格審査の結果、出願資格の認定を受けた者。 なお、出願資格申請要件は、(1)～(5)のいずれかに該当し、かつ(6)に該当する者 (1) 短期大学を卒業した者又は平成30年3月までに卒業見込みの者 (2) 高等専門学校を卒業した者又は平成30年3月までに卒業見込みの者 (3) 大学に2年以上(休学期間を除く)在学し、62単位以上を修得した者又は平成30年3月までに修得見込みの者。(修得単位数等については、本学へ確認して下さい。)なお、所定の単位を修得見込みの者が、平成30年3月までに修得できなかった場合には、合格を取り消します (4) 学校教育法第104条第4項の規定に基づき、大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者又は平成30年3月までに授与される見込みの者 (5) 外国において、学校教育における14年の課程(日本における通常の課程による学校教育の期間を含む)を修了した者又は平成30年3月までに修了見込みの者 (6) 高等専門学校・短期大学・大学で在籍している(いた)学科が、本学科と同系列であること
出願資格申請期間	平成29年9月4日(月)～9月8日(金) [必着]
選 抜 方 法	(1) 書類審査 (2) 面 接
出 願 方 法	紙の志願票等による出願
出 願 期 間	平成29年10月30日(月)～11月6日(月) [必着]
試 験 日	平成29年11月26日(日)
合 格 発 表 日	平成29年12月11日(月)
そ の 他	○大学入試センター試験を課しません。

### (3) 出願方法

インターネット出願

P. 6 「 インターネット出願」と同じ

紙の志願票等による出願

・帰国生徒での出願

前橋工科大学ホームページ（トップページ ≫ 入試情報 ≫ 大学入試要項 ≫ 帰国生徒）  
[<http://www.maebashi-it.ac.jp/exam/kikoku.html>]より

・私費外国人留学生での出願

前橋工科大学ホームページ（トップページ ≫ 入試情報 ≫ 大学入試要項 ≫ 私費外国人留学生）[<http://www.maebashi-it.ac.jp/exam/ryuugakusei.html>]より

・総合デザイン工学科 2年次編入、3年次編入

前橋工科大学ホームページ（トップページ ≫ 入試情報 ≫ 大学入試要項 ≫ 総合デザイン工学科 【第2年次・3年次編入学】）

[<http://www.maebashi-it.ac.jp/exam/hennyu.html>]より

出願書類をダウンロード・印刷し、必要事項を記入等の上、出願書類を出願書類提出用封筒に入れ、出願先に簡易書留・速達扱いで郵送してください。

## 6 障がい等を有する等の入学志願者の出願について

本学に入学を志願する者で、障がい等を有する等受験上及び修学上特別な配慮を必要とする場合は、出願に先立ち前橋工科大学学務課学生係に連絡し、相談して下さい。（相談期日・方法については、後日発表・配布する各試験の学生募集要項を参照してください。）

障がいがある等でインターネット出願の利用が難しい方は、入試担当へ相談してください。

## 7 試験会場について

### (1) 一般選抜【前期日程】試験

①前橋会場（前橋工科大学：群馬県前橋市上佐鳥町460番地1、027-265-0111）

②東京会場

③名古屋会場

④仙台会場

※②～④の試験会場については、後日発表する一般選抜募集要項を参照してください。

### (2) 上記以外の試験

前橋工科大学

## 8 学生募集要項等の発表時期について

平成30年度の学生募集要項等の発表時期は、次のとおり。（紙媒体の募集要項は廃止しました。）

募集要項等の種別	発表時期
大学案内	6月中旬
一般選抜学生募集要項 WEB閲覧のみ	11月下旬
特別選抜 【推薦】【総合デザイン工学科 社会人 A日程（推薦）】【総合デザイン工学科 B日程】 WEB閲覧のみ	9月下旬
帰国生徒学生募集要項、私費外国人留学生学生募集要項 WEB閲覧のみ	6月下旬

## □ 前橋工科大学工学部 各学科の教育ポリシー

### [社会環境工学科]

**入学者受入方針(アドミッション・ポリシー) ～ 次のような学生を広く求めます。**

#### ① 教育理念

社会環境工学科では、社会資本の整備や自然環境の保全に取り組む土木・環境工学（Civil and Environmental Engineering）分野の技術者の養成を目指しています。

#### ② 求める学生像

次のような学生を求めています。

- ・道路、河川、港湾、鉄道、都市施設の整備・維持管理方法、地震や大雨による自然災害から市民生活を守るための対策、種々の環境問題に関心を持っている。
- ・広くものづくりに関心が高く、自然現象や社会現象の調査分析・実験などを通じて自然科学や社会科学の原理原則を探究したい。

#### ③ 評価の観点

公共の福祉についておもんばかる想像力、専門分野の技術者として備えるべき基礎学力、自らの問題意識を社会とのかかわりの中で活かすことを目的とした提案力を涵養するための基盤となる数学・英語・理科・国語等、特に数学・物理の基礎的学力を評価します。

高等学校等での修得すべき科目は、数学では、数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・B（あるいは同等の科目）、理科では、物理（物理基礎を含む）及び英語で、入学時までこれら科目の内容を理解していることが望まれます。

### **「卒業認定・学位授与の方針」（ディプロマ・ポリシー）**

社会環境工学科では、所定の年限在学し、学科の教育理念・目的を達成するために開設した授業科目を履修して、卒業に必要な単位数を修得し、以下に示す能力を有すると認められたものに学士（工学）の学位を授与します。

- ・人類の持続可能な発展、技術と自然や社会との係わり合いを考えながら、自立した技術者として責任ある判断のもとに行動することができる。（学習・教育到達目標の「想像力」）
- ・社会基盤工学と環境工学に関する基礎を学び、この分野の技術者として備えるべき知識を身につけている。（学習・教育到達目標の「基礎学力」）
- ・自ら問題意識をもって課題に取り組み、その結果を社会との係わりの中で活かすことができる。（学習・教育到達目標の「提案力」）

### **「教育課程編成・実施の方針」（カリキュラム・ポリシー）**

社会環境工学科では、ディプロマ・ポリシーを達成するために、共通教育科目、専門教育科目（専門基礎科目、専門科目）に分けて、以下のカリキュラムを開設し、年次に従って実施します。

- ・1年次は、学習・教育到達目標の「想像力」に係わる項目を達成するために設けられた人文・社会科学科目や外国語科目等と専門教育科目、同じく「基礎学力」に係わる項目を達成するために設けられた自然科学科目と専門教育科目を学ぶ。
- ・2年次は、上記の学習に引き続きとりくむとともに、実習や演習を行う専門教育科目（専門基礎科目）をとおり、学習・教育到達目標の「提案力」に係わる項目を達成するための学習を始める。
- ・3年次は、専門教育科目（主に専門科目）によって学習・教育到達目標の「基礎学力」に係わる項目を達成するための学習に引き続きとりくむとともに、実験や実習をあつかう専門教育科目（専門科目）によって「提案力」に係わる項目を達成するための学習を積み重ねていく。
- ・4年次は、主に卒業研究にとりくみ、学習・教育到達目標の「提案力」に係わる項目を達成するための学習の総仕上げとする。

## [建築学科]

### 入学者受入方針(アドミッション・ポリシー) ～ 次のような学生を広く求めます。

#### ① 教育理念

建築学科では、社会福祉や自然環境への配慮に加え、安全、健康、安らぎ、豊かさ等、文化的・芸術的な視点から建築と都市のデザインやマネジメントを推進する設計者と技術者の養成を目指しています。

#### ② 求める学生像

次のような学生を求めています。

- ・ 科学、社会、技術、芸術等の広い分野に関心を持っている。
- ・ 建築や都市の企画・設計・施工・監理・マネジメント等に関わる業務に従事したい。

#### ③ 評価の観点

広い視野と発想力、洞察力、問題発見能力、集中力、持続力、コミュニケーション力等の基盤となる数学・英語・理科・国語等、特に数学の基礎的学力を評価します。

高等学校等での修得すべき科目は、数学では、数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・B（あるいは同等の科目）、理科では、物理（物理基礎を含む）及び英語で、入学時までこれら科目の内容を理解していることが望まれます。

### 「卒業認定・学位授与の方針」(ディプロマ・ポリシー)

建築学科では、所定の年限在学し、学科の教育理念・目的を達成するために開設した授業科目を履修して、卒業に必要な単位数を修得し、以下に示す能力を有すると認められたものに学士(工学)の学位を授与します。

- ・ 自ら発見した問題を、自ら調べ、自ら考えて解決する能力を身に付けている。
- ・ 学んだ技術や知識をもとに、柔軟に対応できる応用力を身に付けている。
- ・ 建築設計者・技術者として必要な基礎知識を持ち、記述能力、描画能力、ものを作る能力を通して、自分の考えを表現することができる。
- ・ 建築設計者・技術者として備えるべき倫理観を持ち、社会的責任を理解している。
- ・ 建築に関わる生活の豊かさ、人間の健康、地域社会、環境について考えた空間を創造することができる。

### 「教育課程編成・実施の方針」(カリキュラム・ポリシー)

建築学科では、ディプロマ・ポリシーを達成するために、共通教育科目、専門教育科目(専門基礎科目、専門科目)に分けて、以下のカリキュラムを開設し、年次に従って実施します。

- ・ 1年次においては、教養科目で構成されている共通教育科目とともに、建築学の基本となる設計、計画、構造の基礎に関する専門基礎科目を学ぶ。
- ・ 2年次においては、1年次の専門基礎科目に加えて、建築学の基礎をより発展させた専門基礎科目のほか、建築設計、構造力学、建築計画、環境工学に関する専門科目について学び、建築設計者・技術者として必要な基礎知識を身につける。また、実習・演習科目を通して、自己表現力を身につける。
- ・ 3年次においては、専門科目を中心に学び、建築計画・意匠分野、建築構造・材料分野、建築環境・設備分野に分けて、学生が自主的に履修計画を立て、希望する専門分野の科目を履修する。また、実験科目を通して、問題提起・解決能力を身につけるほか、建築インターンシップでは、学外の企業で実務を体験することにより、倫理観や社会的責任を理解する。
- ・ 4年次においては、専任教員の研究室に所属し、卒業研究・設計に取り組むことで、技術論文のまとめ方、プレゼンテーション方法、討議の仕方などについて学び、大学教育の総まとめを行う。

## **[生命情報学科]**

### **入学者受入方針(アドミッション・ポリシー) ～ 次のような学生を広く求めます。**

#### ① 教育理念

生命情報学科では、生命現象を情報科学により分析・解明して人の健康・福祉に貢献し、情報科学を発展させて行くことのできる研究者と技術者の養成を目指しています。

#### ② 求める学生像

次のような学生を求めています。

- ・プログラミング、システム、ネットワーク、物理、化学、生物等の広い分野に関心を持っている。
- ・将来生命科学（製薬、医療機器等）及び、情報科学（データベース開発、情報システム開発等）に関わる業務に従事したい。

#### ③ 評価の観点

広い視野と理解力、問題発見能力、分析力、解決力の基盤となる数学・理科等の基礎的学力を評価します。

高等学校等での修得すべき科目は、数学では、数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・B（あるいは同等の科目）、理科では、物理（物理基礎を含む）、化学（化学基礎を含む）、生物（生物基礎を含む）（あるいは同等の科目）のうち1つ以上及び英語で、入学時までこれらの科目の内容を理解していることが望まれます。

### **「卒業認定・学位授与の方針」（ディプロマ・ポリシー）**

生命情報学科では、所定の年限在学し、学科の教育理念・目的を達成するために開設した授業科目を履修して、卒業に必要な単位数を修得し、以下に示す能力を有すると認められたものに学士（工学）の学位を授与します。

- ・コンピュータ、データベースおよびネットワークシステムの仕組みと働きに関する基礎的な知識を有し、それらを活用することができる。
- ・分子生物学、ゲノム科学に関する基本的な知識を持ち、医療、製薬、農業などのバイオテクノロジーに関する最新の技術情報を理解することができる。
- ・基本的なプログラミングを行う能力があり、与えられた問題を解決するために必要なプログラムを作成できる。
- ・社会的に高い倫理規範を持ち、自らの知識を社会貢献に役立てようとする強い意思を持つ。
- ・文書、および口頭でのプレゼンテーションにより、アイデアを共有することができる。

### **「教育課程編成・実施の方針」（カリキュラム・ポリシー）**

生命情報学科では、ディプロマ・ポリシーを達成するために、共通教育科目、専門教育科目（専門基礎科目、専門科目）に分けて、以下のカリキュラムを開設し、年次に従って実施します。

- ・1年次においては、共通教育科目を中心とし、生命情報に関する専門基礎科目も学ぶ。生命情報学科でもっとも重視しているプログラミングの演習は1年次から開始する。
- ・2年次においては、1年次で学んだ専門基礎科目を発展させた科目と、情報ネットワーク分野とゲノム情報分野に共通する専門基礎科目を学ぶ。
- ・3年次では、情報ネットワーク分野とゲノム情報分野に関する専門科目を学び、ゼミナールでは専任教員の研究室に所属して、卒業研究で扱う専門分野の基礎を勉強し、その分野の理解を深める。
- ・4年次の卒業研究では専任教員の研究室に所属し、与えられた研究テーマについて調査・実験・研究を進めながら、技術論文のまとめ方、プレゼンテーション技術、討議の仕方などを学ぶ。

## **[システム生体工学科]**

### **入学者受入方針(アドミッション・ポリシー) ～ 次のような学生を広く求めます。**

#### ① 教育理念

システム生体工学科では、工学と医科学との融合分野における健康長寿の社会的ニーズの実現に向けて、生体に関する医科学の基礎と電気電子・機械・情報・計測制御等の工学基盤技術を学び、福祉や医療の分野で貢献できる技術者の養成を目指しています。

#### ② 求める学生像

次のような学生を求めています。

- ・工学と医科学の学際領域で活躍できる技術者を目指している。
- ・生体工学・メカトロニクスなどの学問に興味があり、人々の健康・福祉に貢献したい。
- ・福祉や医療の機器・システムに関心を持ち、その設計開発を行いたい。
- ・自ら考え、学ぶ力を高め、社会的要請に果敢に挑戦する意欲がある。

#### ③ 評価の観点

工学を学ぶのに必要となる数学・理科・英語・国語等の基礎的学力を評価します。

高等学校等での修得すべき科目は、数学では、数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・B（あるいは同等の科目）、理科では、物理（物理基礎を含む）、化学（化学基礎を含む）、生物（生物基礎を含む）（あるいは同等の科目）のうち1つ以上及び英語で、入学時までこれらの科目の内容を理解していることが望まれます。

### **「卒業認定・学位授与の方針」(ディプロマ・ポリシー)**

システム生体工学科では、所定の年限在学し、学科の教育理念・目的を達成するために開設した授業科目を履修して、卒業に必要な単位数を修得し、次の条件を満たすと認められたものに学士(工学)の学位を授与します。

- ・生体工学、メカトロニクス、情報科学を含むシステム生体工学に関する横断的な知識を有する。
- ・システム生体工学に関する問題の発見、分析、解決を主体的に取り組むことができる。
- ・健康・医療・福祉機器やシステムの設計・開発をはじめとする広い分野に応用できる基礎的な技術力を有する。
- ・技術者として、地域社会への貢献や技術を運用する責任と倫理について考えることができる。
- ・論理的思考能力、プレゼンテーション能力、およびコミュニケーション能力を有する。

### **「教育課程編成・実施の方針」(カリキュラム・ポリシー)**

システム生体工学科では、ディプロマ・ポリシーを達成するために、共通教育科目、専門教育科目(専門基礎科目、専門科目)に分けて、以下のカリキュラムを開設し、年次に従って実施します。

- ・基礎教育から専門教育へスムーズに移行できるように、低学年において、数学、物理、生物、語学など幅広い分野の知識を習得させ、工学基礎力を涵養する。
- ・システム生体工学に関連する学問を体系的に学ぶことができるように、共通の専門科目を設けるとともに、システム脳神経工学分野、生体情報計測分野、生体機能制御分野の3つの専門分野を横断する科目を開設する。
- ・専門教育では、専門科目の講義とともにプロジェクト型教育を行い、基本的な原理に対する理解を深め、課題探究能力や問題解決能力などの基礎力を養成する。
- ・専門のゼミナールと卒業研究では、それぞれの分野の専門知識をさらに深め、社会に貢献できる研究の方法を学ぶとともに、自由な発想と柔軟な創造力を養い、論理的思考能力やプレゼンテーション能力、およびコミュニケーション能力を養成する。

## [生物工学科]

### 入学者受入方針(アドミッション・ポリシー) ～ 次のような学生を広く求めます。

#### ① 教育理念

生物工学科では、生物の多様な能力を食品の生産や医薬品をはじめとする有用化合物の製造、地球環境・地域環境の保全と浄化に役立てる知識を持った技術者の養成を目指しています。

#### ② 求める学生像

次のような学生を求めています。

- ・ 動植物や微生物の示す様々な形態や生理現象の発現の仕組みに関わる化合物やタンパク質、遺伝子等について学びたい。
- ・ 食品が生体内で示す様々な作用の仕組みについて学び、健康の維持と増進等で、社会に役立てたい。
- ・ 地球環境の保全や汚染された環境の浄化・修復に生物の能力を利用するための知識や技術の修得に意欲がある。
- ・ 学んだことを生かして社会に貢献する意欲を持ち、積極的に勉学に取り組むことができる。

#### ③ 評価の観点

自然科学、工学の知識を収集・理解し、情報や自分の考えを伝えるための基盤となる国語・数学・理科・英語等の高等学校等で学ぶ基礎的学力を評価します。

高等学校等での修得すべき科目は、数学では、数学Ⅰ・Ⅱ・A・B（あるいは同等の科目）、理科では、物理基礎、化学（化学基礎を含む）、生物（生物基礎を含む）（あるいは同等の科目）、国語（古典を除く）及び英語で、入学時までこれらの科目の内容を理解していることが望まれます。

## 教職課程

生物工学科において、高等学校教諭一種免許状(理科)を取得することができます。

教職課程では、教育に対する深い理解と教職に対する強い情熱を持ち、教育の専門家として確かな力量を備え、総合的な人間力を持って生徒に援助ができる実践的指導力を兼ね備えた教員の養成を目指しています。

そのために、次のような学生を求めています。

- ・ 人と人とのかかわりを大切にでき、教育に関心がある。
- ・ 自然科学を総合的にとらえ、広く理解している。
- ・ グループワークにおいて目標を定め、協力しながらその目標を達成できる。

### 「卒業認定・学位授与の方針」(ディプロマ・ポリシー)

生物工学科では、所定の年限在学し、学科の教育理念・目的を達成するために開設した授業科目を履修して、卒業に必要な単位数を修得し、次の能力を有すると認められたものに学士(工学)の学位を授与します。

- ・ 生物に備わる機能と情報の仕組みを理解する能力を有する。
- ・ 様々な事象から問題点を見出し、その解決方法を論理的に考えることができる。
- ・ バイオ、化学、食品等の関連産業における専門知識と実践技術を有する。
- ・ 技術者としての倫理に則り行動することができる。
- ・ データや情報を集約して分析し、わかりやすく発表、説明することができる。

## 教職課程

教職課程では、所定の年限在学し、本課程の教育理念・目的を達成するために開設した授業科目を履修して、卒業に必要な単位数を修得し、かつ、教員免許取得に必要な授業科目を履修・修得し、次の能



力を有すると認められたものは高等学校教諭一種免許状(理科)を取得することができます。

- ・ 教員として働くことの意義を理解し、教職への熱意をもっている。
- ・ 教科教育に対する専門的知見と技術を有している。
- ・ 社会人としての確かな見識と現場での実践力を備え、生徒への支援ができる。

### 「教育課程編成・実施の方針」(カリキュラム・ポリシー)

生物工学科では、ディプロマ・ポリシーを達成するために、共通教育科目、専門教育科目(専門基礎科目、専門科目)に分けて、以下のカリキュラムを開設し、年次に従って実施します。

- ・ 1、2年次においては、教養科目から成る共通教育科目を履修するとともに、生物工学の基礎知識を習得するための必修科目である専門基礎科目を履修する。
- ・ 3、4年次においては、生物工学を応用した医薬品、食品、化学、環境産業などの研究開発の基礎となる専門科目を履修する。
- ・ 生物工学研究では、様々な事象を論理的に説明するための仮説を設定し、実証実験を繰り返しながら仮説の真偽を検証することが重要である。この観点から、講義による基礎知識の習得とともに、1年次は基礎生物工学実験Ⅰおよび基礎生物工学実験Ⅱを、2～3年次は生物工学実験Ⅰ～Ⅳを全員が履修して、仮説の証明のための基礎となる実験技術の基本を幅広く習得する。
- ・ 卒業研究は、専任教員の研究室に所属し、具体的な研究活動の体験を通じて、高度の実験技術を習得する。また、テーマの設定や文献調査、学術論文の作成法、プレゼンテーション方法、討議の仕方などの基礎を学ぶ。

### 教職課程

教職課程では、ディプロマ・ポリシーを達成するために、教職に関する科目、教科専門に関する科目、免許法施行規則第66条の6に定める科目に分けて、以下のカリキュラムを開設し、年次に従って実施します。

- ・ 教職に関する科目においては、1年次に教職の意義等に関する科目、教育の基礎理論に関する科目、教職課程及び指導法に関する科目を履修させ教員として働く意義と担任としての心構えを学ばせる。
- ・ 2年次では教育の基礎理論に関する科目、教育課程及び指導法に関する科目を学修させることで、理科を専門とする教員としての知見とその教授方法を身につけさせる。また、生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目では、生徒への接しかたや指導、教育相談についての方法を学ばせる。
- ・ 3年次においては2年次に引き続き教育課程及び指導法に関する科目、生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目を履修させる。さらに教育実習、教育実習事前事後指導を学修させて教員としての総合的な実践力を身につけさせる。また、その資質能力や進路に関する自己分析もさせる。
- ・ 4年次は教職実践演習(高)において教職としての資質能力全体について振り返り、補充、深化をさせる。
- ・ 教科に関する科目では1、2年次において物理、化学、生物、地学に関する総合的内容を学ばせ、自然科学の各分野を概観させる。また、基本的実験を通して講義で学んだ知見等を深く理解させ、実験技能を修得させる。
- ・ 3、4年次では生物学、化学についての専門的科目を履修させ自然科学における生命科学、環境科学の分野の知見を深めさせる。また、科学的に探究する能力と課題解決能力を習得させる。
- ・ 免許法施行規則第66条の6に定める科目では、1～3年次に日本国憲法、体育、外国語コミュニケーション、情報機器の操作の修得をさせる。

## [総合デザイン工学科]

### 入学者受入方針(アドミッション・ポリシー) ～ 次のような学生を広く求めます。

#### ① 教育理念

総合デザイン工学科では、主に働きながら学ぶ意欲のある人を対象として、人々の暮らしを豊かにするためのデザインに求められる基本的な考え方と表現を修得していると共に、そのデザインを実現するための構造・材料・設備の知識や情報技術についても修得している専門技術者の養成を目指しています。

#### ② 求める学生像

次のような学生を求めています。

- ・地域社会に貢献したい。
- ・デザイナー、建築家としての確かな基礎知識や技術を身につけたい。
- ・構造家、設備系技術者、情報技術者として活躍したい。
- ・基礎的な倫理観や教養、専門的な知識に基づく、独創的な発想力と問題解決能力を身につけたい。
- ・既に社会人であり、工学的専門知識を学び、将来的に仕事に活かしたい。

#### ③ 評価の観点

専門的知識を学ぶのに必要となる数学・理科の基礎的学力、専門的な技術を身につけるのに必要とされる想像力・理解力・描写力・表現力、独創的な発想力と問題解決能力についての資質を評価します。

高等学校等での修得すべき科目は、数学では、数学Ⅰ・Ⅱ・A・B（あるいは同等の科目）、理科では、物理基礎（できれば物理も）及び英語で、入学時までこれら科目の内容を理解していることが望まれます。

総合デザイン工学科は、主として夜間および土曜日に授業を開講しています。

### 「卒業認定・学位授与の方針」(ディプロマ・ポリシー)

総合デザイン工学科では、所定の年限在学し、学科の教育理念・目的を達成するために開設した授業科目を履修して、卒業に必要な単位数を修得し、次の能力を有すると認められたものに学士(工学)の学位を授与します。

- ・既存の価値、社会の状況を多面的な視点から観察し、問題を発見する能力を身につけている。
- ・基礎教育科目とともに、数理・情報、材料、構造などの専門科目を学修することで、問題解決のための知識と実践の方法を修得している。
- ・専門的工学知識をもとに、発想を具現化する技術を持ち、造形と視覚を意識したものづくりを行うことができる。
- ・自らの考えや成果物を他者に伝達するとともに、他者の考えを理解するコミュニケーション能力を身につけている。
- ・考えや成果物に対しての客観的な評価を通して、デザインの学修を継続的に行う能力を身につけている。

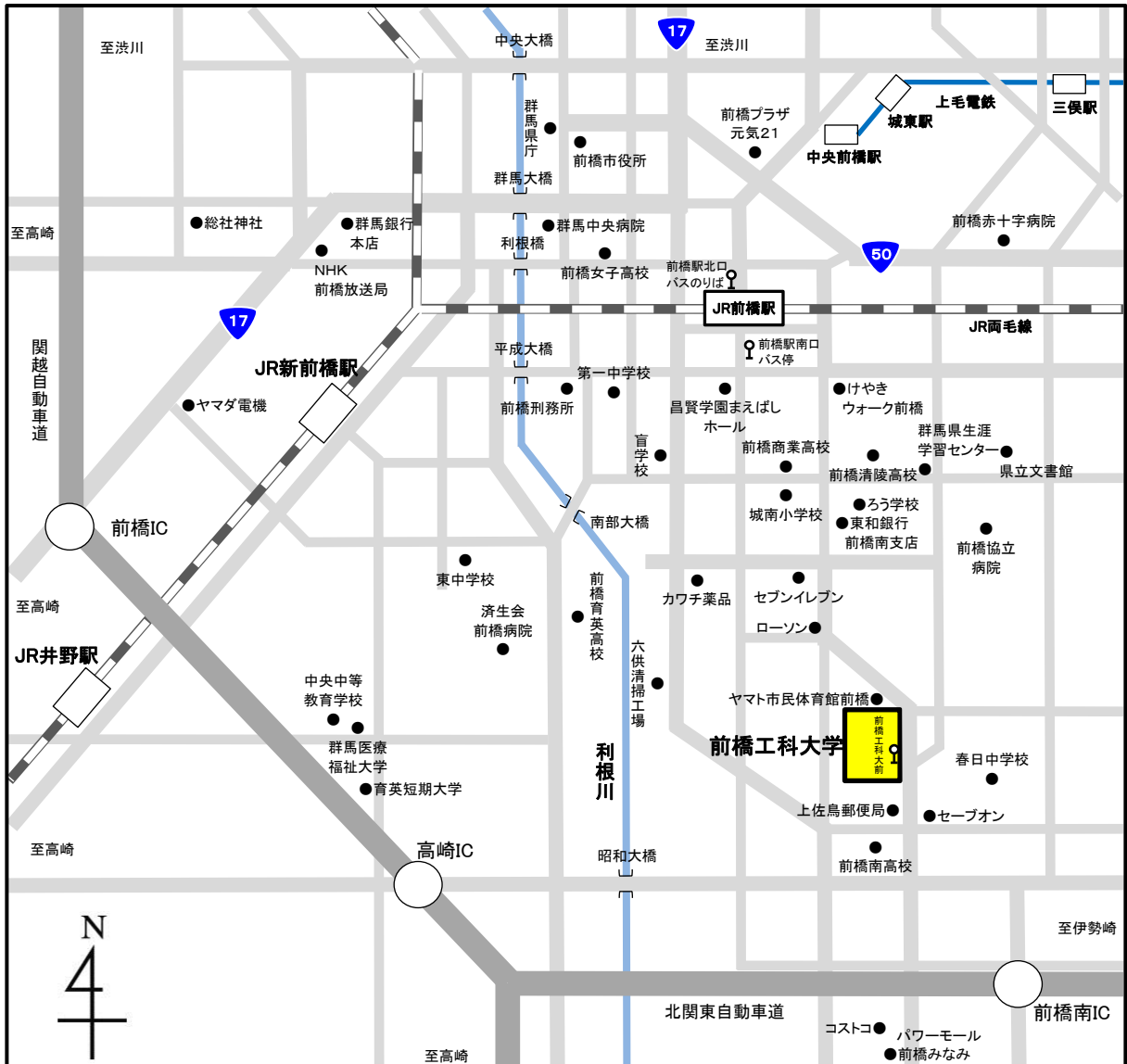
### 「教育課程編成・実施の方針」(カリキュラム・ポリシー)

総合デザイン工学科では、ディプロマ・ポリシーを達成するために、基礎教育科目、専門教育科目に分けて、以下のカリキュラムを開設し、年次に従って実施します。

- ・1・2年次の自然科学系科目、人文・社会科学系科目および外国語科目では、既存の価値や社会の状況を多面的な視点から観察し問題を発見する能力を身につけるための学修をする。

- 1年次の専門教育科目として、問題解決のための知識と実践の基礎的能力を修得するために、デザインに従事する人材が共通して必要とする、数理・情報、材料・構造、技術製図を学修する。
- 2年次の専門教育科目では、授業科目を段階的に配置し、学生各自の関心に沿った科目を学修することで学んだ知識や技術を深化させることで、専門的工学知識をもとに、機能、造形と視覚を意識した発想力豊かなものづくりのできる能力を養う。
- 3年次では、デザインについて学ぶ学生に対しては、プロダクトデザイン、建築・都市デザイン、情報デザインを知ることで、そこに共通するデザインの基礎を学ぶとともに、創造のための思考力を養い、材料・構造について学ぶ学生に対しては、建築構造家、設備技術者、施工技術者として必要な知識や技術を修得させる。
- 4年次では、卒業研究を通じて、問題発見から解決とその具現化を実践的に学修する過程の中で、コミュニケーション能力の向上を図るとともに、デザインの学修を継続的に行う能力を養う。

# 前橋工科大学案内図



## 交通機関のご案内

バス JR前橋駅北口4番のりばから約10分「前橋工科大前」下車  
 〔永井バス：新町玉村線、天川原町経由下川団地線〕片道200円

タクシー 約10分

徒歩 約30分